

桜環境新聞

桜エコ・フェスタ2021

テーマは「めぐりめぐる環」

「桜エコ・フェスタ」は、参加する団体がさまざまな立場から環境やエコについて考え、伝え、楽しむイベントです。今年の特設ページ(https://com-sup.com/ecofesta/)を作り、初のオンライン開催となりました。

テーマは「めぐりめぐる環(WA)」。

11月3日(水・祝)〜12月26日(日)の間、34の市民団体と障がいのある方が働く施設の活動を「ちくちく ぺたぺた」などに

<https://com-sup.com/ecofesta/>
桜エコ・フェスタ2021

今年 Webで!

入口はこちら

めぐりめぐる環

#(ハッシュタグ)で参加しよう!

2021年11月3日(水・祝)〜12月26日(日)

主催: 桜エコ・フェスタ2021実行委員会
連絡先: さいたま市桜環境センター・環境啓発施設
Tel: 048-710-5345

参加: 「桜エコ・フェスタ」を付けてInstagramに投稿しよう!

検索: Instagramで「桜エコ・フェスタ」を検索してみよう!

11月28日(日)には、会場を変えて、さいたま市緑区三室にある「白衣観音中原堂」で、実際に商品を見ながら買物ができる「めぐりめぐるWA市」も開催します。パンやお菓子、野菜な

さいたま市 桜環境センター

〒338-0834
埼玉県さいたま市桜区新聞4-2-1
9:00~17:00(月曜休館)

【環境啓発施設】
Tel: 048-710-5345(休館日除く)

【余熱体験施設】
Tel: 048-710-5344(休館日除く)

【施設見学・持込・その他】
Tel: 048-710-6010

【ホームページ】
https://sakura-kc.saitama.jp/



環境啓発施設 公式SNSアカウント



環境啓発施設 E-mail
sakura@com-sup.com

QRコードってなに?

最近、よく見かけるモザイクタイルのようなこの模様。「QRコード」といい、スマートフォン(スマホ)で読み込むことで、興味のあるホームページを開き、より詳しい情報が見られたり、イベントの入場券になったりします。

QRコードを読みこんでみよう!



- ① スマホの「カメラ」アプリをタップ(軽くたたく)。
- ② スマホを読み込みたい QR コードに向けて画面に映す。
- ③ 読み取ったURLが画面に現れるので、タップするとホームページが開く。

※カメラ機能で読み込めない機種は、「App Store」「Google play」などから「QRコード」と検索し、読み取りアプリをインストールしてみてください。

どの食品から雑貨まで、作った人の顔が見えるハートフルな商品ばかりです。今年オンライン開催のため、開催期間を約2カ月と長く設定していますので、時間をかけて、少しずつ、ご家族皆さんでお楽しみください。

「桜エコ・フェスタ2021」の開催を記念して、桜環境センターのビオトープの愛称を募集します。採用された方には、賞状とオリジナル記念品を贈呈します。

●募集期間: 2021年11月21日(日)まで。

●愛称発表: 2021年11月28日(日)に「桜エコ・フェスタ2021」特設ページにて。

ビオトープの愛称募集!



詳しくはこちら



応募フォームはこちら

桜環境センターのビオトープ

金盞香

一七十二候だより きんせんかさく

【11月17〜21日頃】

ここでの「キンセンカ」は水仙のこと。金盞とは黄金の盃を意味し、昔、中国では水仙の副花冠を黄金の盃に見立て、「金盞銀台」と呼んでいました。

花期の長い水仙は、お正月の花としても親しまれています。

みんなで守り育てる “ビオトープそだて隊”

9月より、桜環境センター・ビオトープの豊かな環境をともに守り、育てる参加型イベント「ビオトープそだて隊」を月に1〜2回開催しています。

活動は年間登録ではありません、1回ごとの受付になります。活動時間は、集合時間から最大2時間。途中で帰ってもかまいません。

9月は「草抜き&秋の鳴く虫調査」を、10月は「セイトカアワダチソウ(外来植物)を抜いちゃおう!&ビオトープ生きもの調査」を、11月は「ヤナギでリースを作ろう!」を行いました。

10月は天候にも恵まれ、



秋の鳴く虫調査



「バッタをつかまえたよ!」

50名以上の方が参加しました。「本当に楽しかったです」「桜環境センターに初めて来ました。とても勉強になるし、楽しいです」「生きていますイナゴを初めて見ました」と、楽しんで植物や生き物と触れ合う姿が見られました。

田んぼクラブの

稲刈り体験

4月にスタートした「田んぼクラブ」。田植え、草刈りなどを経て、十月二十三日(土)、二十四日(日)にビオトープの田んぼの稲刈りをし、田んぼの生きもの調査を行いました。参加者からは、「稲刈りがとても楽しかった」「生きものがいて面白かった」



稲刈り作業の様子



「セイトカアワダチソウがぬけた!」

られました。このイベントでは、スタンプとの作業・調査を通してビオトープを知り、地域の自然にも目を向けます。各月で実施内容や集合時間が異なるので、市報さいたまや桜環境センターHPで詳しいお知らせをしています。ご興味のある方ぜひご参加ください。

桜環境センターの 利用団体紹介

一閑張りを 広める会

多彩な趣味を持ち寄って

江戸初期、明国から来日した飛来一閑(ひきいっかん)が広めたとされる「一閑張り」。竹製品などに和紙を貼り、防水効果のある柿渋を塗り重ねて作る伝統工芸です。

一閑張りを広める会では、伝統的な作り方に加え、着物の生地を貼り合わせたリ、染め物、ビーズ細工を施してみたりと、メンバー

のアイデアで個性的な作品も制作しています。
絵手紙から始まった

当会の指導者の中川節子さんが、当時、習っていた絵手紙の先生に一閑張りを教えていただいたのが最初の出会い。その後、16代目飛来一閑さんを訪ねたりして見聞を広めました。



そして、絵手紙展に作品を置いたことから、一閑張りを習いたいと問合せがあり、体験講座を経て、教室をスタート。現在では市内4カ所ですと月に20人前後の人が学んでいます。
大切なものを活かす

生徒の中には、故人の帯地や書を一閑張りの素材にして、愛用品に仕立てる方もいます。身の周りの大切なものを活かす手段としても活用を幅を広げてほしいと中川さんは提案します。
●一閑張りを広める会を、より詳しく紹介しているHPはこちらから。

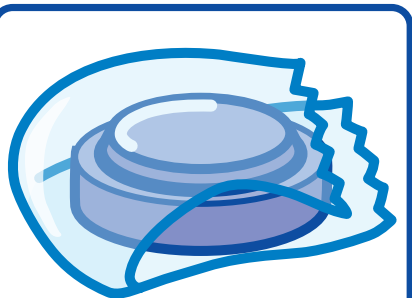


知っているようで知らない

『ごみの正しい出し方』

ボタン型電池

ボタン型電池は、電極にテープなどを貼って(絶縁して)、小型家電回収ボックスの電池投入口に入れてください。電気店などの回収箱でも回収しています。



テープを貼って
小型家電回収ボックスへ